

かながわ生きもの調査

結果報告書2022

かながわ生きもの調査ってなに？

みなさんの身近にある自然に住んでいる生きものを探して、発見情報を報告してもらいます。

楽しみながら神奈川県に住んでいるたくさんの生きものについて学んでいただくことを目的に平成31年3月からはじめました。

どうやって調査するの？

対象の生きものを観察・撮影し、スマートフォンやタブレットなどを使って環境省が運営する「いきものログ」の調査ページに報告していただきました。

どんな生きものが対象なの？

かながわ生きもの調査は、みなさんが知ってるトンボやツバメなど身近な生きものを対象とした「里山の生きもの」調査、元々は神奈川県にいなかった生きものを対象とした「外来種」調査の2つの調査があります。

「里山のいきもの」対象種（16種）



「外来種」対象種（13種）



「外来種」令和3年度末追加対象種（5種）





結果 (集計期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 参加者数

里山の生きもの調査…63人 外来種調査…63人

2 報告者数

調査に参加してくださった方のうち、実際に投稿してくれた人数

里山の生きもの調査…3人

外来種調査…3人

報告者別報告件数

里山の生きもの調査

飛行機雲 さん	114件
ムジナ さん	2件
エゴノキ さん	2件

外来種調査

ムジナ さん	159件
飛行機雲 さん	40件
エゴノキ さん	2件

投稿してくださった皆様、本当にありがとうございました！

3 報告件数

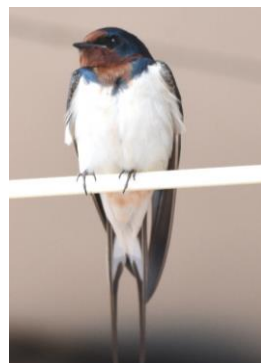
(1) 里山の生きもの調査: 全118件

対象種別報告件数ランキング

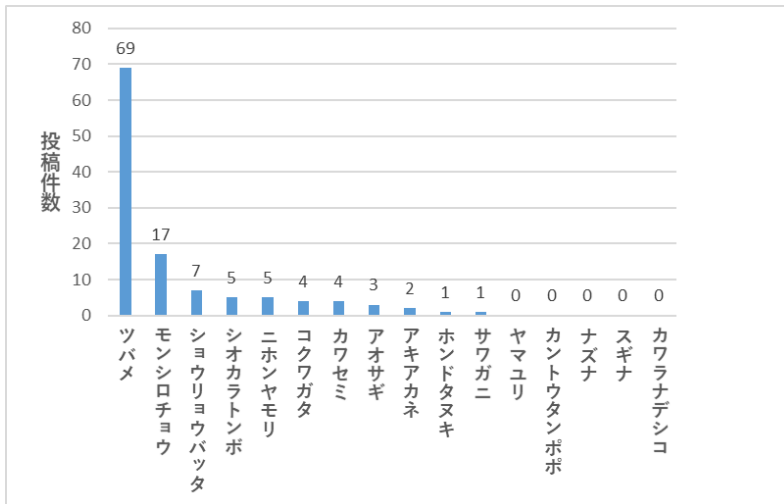
第1位 ツバメ	69件
第2位 モンシロチョウ	17件
第3位 ショウリョウバッタ	7件

里山の生きもの調査で最も多く投稿されたツバメは、近年、巣を作る場所が減ったり、エサ場となる農耕地などが減ったりしたことによって、2006年に出版した神奈川県レッドデータブック(絶滅の恐れがある野生生物の生息状況等をまとめた冊子)で生息地あるいは生息個体数が著しく減少している「減少種」に区分されています。

しかし、一昨年、昨年に続き皆さんの身近にいる生きものとして多くの発見情報がありました。



提供 相模原市立博物館



前年度報告がなかったニホンヤモリの報告が5件ありました。

神奈川県内に広く分布しているニホンヤモリは灯火に集まる昆虫を好むため、人家周辺に住みついています。

指には繊細な毛が密集した「指下板」があり、ガラスなどの垂直面をのぼることができます。

※投稿件数が0件＝神奈川県にいないということではありません。

投稿いただいたコメント(一部)

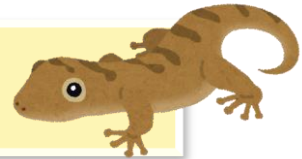
「ツバメ」を発見！

- ・店舗の入り口に巣。雛が3羽見えました。
- ・水田に降りて泥を採取していました。



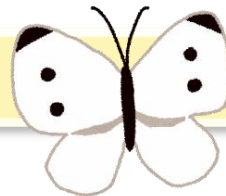
「ニホンヤモリ」を発見！

- ・畑の小屋にある水溜りに浮いていました。
- ・自宅トイレの壁に張り付いていた。



「モンシロチョウ」を発見！

- ・畑のラベンダーに。



(2) 外来種調査: 全201件

対象種別報告件数ランキング

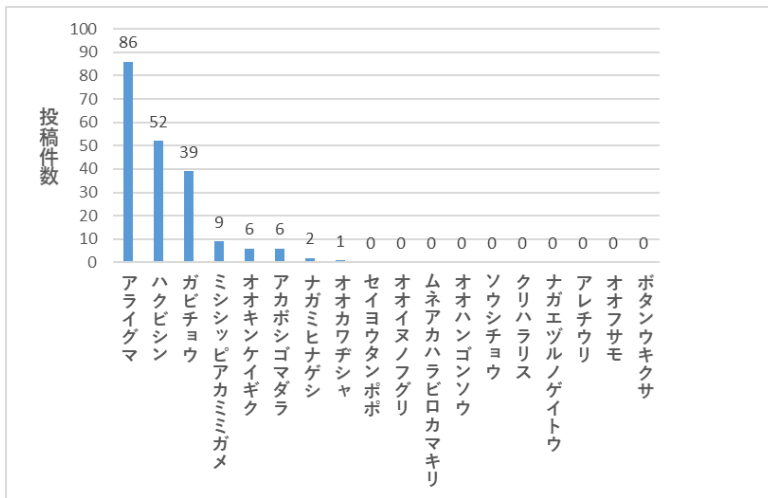
第1位	アライグマ	86件
第2位	ハクビシン	52件
第3位	ガビチョウ	39件

外来種調査で最も多く投稿されたアライグマは、「特定外来生物」に指定されており、輸入、運搬、飼育、野外に放つこと等が禁止されています。

見た目は可愛らしいですが、野生化したアライグマはものすごく気性が荒く、攻撃性が高い動物です。カエルや希少なサンショウウオなどが食べられたり、家やお寺などの天井裏に入り、壊したり汚したりし、生態系や人々の生活への被害を引き起こしています。



県ではアライグマの防除を進めており、これを効果的に行うために生息情報を集めています。アライグマやその痕跡をみつけたときは、みつけた市町村や神奈川県庁の自然環境保全課に教えてください。



例年報告が少なかったアライグマやハクビシンの報告が多く寄せられました。

在来種のタヌキやアナグマと顔の特徴が似ているため、見間違えることがよくありますが、全身の特徴を理解すると区別することが可能です。

投稿いただいたコメント(一部)

「ハクビシン」を発見！

・日没して暗くなった19時頃に林の樹上でゴソゴソ。
エノキの枝先の実を漁ってるようでした。



「アライグマ」を発見！

・増水で減少したが再度小さなものが無数に出現。

「ガビチョウ」を発見！

・公園の笹藪で鳴いていた。
・林のあちこちでさえずり。



撮影:くずはの家

令和4年度に生きもの調査に参加・報告してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

県では引き続き2つの調査を行いますので、令和5年度も対象の生きものを発見したらぜひ報告をよろしくお願いいたします。

この調査がみなさんが自然と親しむきっかけづくりになりますように。

令和5年12月11日 神奈川県自然環境保全課